

土砂災害・ため池の決壊

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)が発表されていなくても、普段と異なる状況(土砂災害の前兆)に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

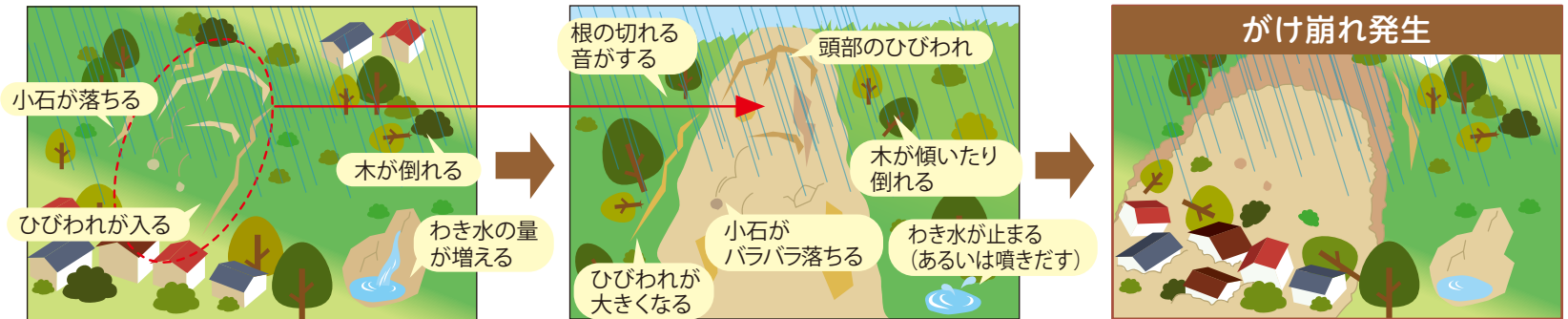
土砂災害の種類と前兆現象

由布市土砂災害ハザードマップはこちらから



がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40km という速度で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

ため池の決壊

由布市ため池ハザードマップはこちらから



大雨や地震等により決壊が発生すると、ため池の貯水機能が喪失するだけでなく下流人家等への甚大な被害が生じます。

事前放流

豪雨前にため池の水を事前に放流し水位を下げておくことで、ため池の決壊を防ぎ直下流の家屋浸水・農地災害等の被害の軽減が期待できます。

【注意事項】

- ・貯水位の急激な変動は堤体に悪影響(法面崩壊等)を与えるおそれがあるため、斜樋を上から開ける等の配慮を図ってください。
- ・下流の水路や河川が増水している場合は、浸水被害を助長しないように放流量を調整してください。
- ・降雨が想定以下となった場合、その後の水位回復に時間を要し、営農に影響を与えるおそれがあるため、用水量の確保に留意しつつ取り組んでください。

